

蒲原東児童クラブ 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年8月22日(火)

8月22日(火) 蒲原東児童クラブを訪問し、1年生から6年生までを対象に「火起こし」「織物」の古代の人々の生活を体験する授業を行いました。

どれも初めての体験なので興味津々、誰もが目を輝かせて真剣に取り組んでいました。この授業を通して古代の人々の暮らしや歴史に興味関心をもって、今後の学習に生かして欲しいと願っています。

◎火起こし体験



実際に挑戦してみると、なかなか火種ができません。火種ができて、燃える炎にするのには、またひと苦勞、煙が目にしみてつらかった。火を手に入れるのに、こんなに苦勞するとは思っていませんでした。しかし、みんなで協力し、コツを覚えると、次々と火を起すことができました。昔の人々の生活の苦勞をいろいろと感ずることができました。

◎織物体験



布は「たて糸」と「よこ糸」を織るという簡単な仕組みで出来ていることに驚きました。その仕組みを利用して「腕輪(ミソガ)」を織る体験に取り組みましたが、たて糸によこ糸を間違えずに交互に織り込んでいくのは根気と集中力が必要で大変でした。糸から布にするまでには多くの時間と手間がかかっていることを知りました。

